

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 10 月 20 日 (2011.10.20)

【公開番号】特開 2010-539 (P2010-539A)
 【公開日】平成 22 年 1 月 7 日 (2010.1.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-001
 【出願番号】特願 2008-243706 (P2008-243706)
 【国際特許分類】

B 2 3 K 9/09 (2006.01)

B 2 3 K 9/095 (2006.01)

【F I】

B 2 3 K 9/09

B 2 3 K 9/095 5 0 5 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 23 年 8 月 31 日 (2011.8.31)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

溶接ワイヤを予め定めたワイヤ送給速度で送給すると共に、予め定めたピーク期間 T_p 中はピーク電流設定値 I_{pr} に対応するピーク電流を通電し、予め定めたベース期間 T_b 中はベース電流設定値 I_{br} に対応するベース電流を通電し、これらの通電を 1 パルス周期として繰り返して溶接を行うパルスアーク溶接の出力制御方法において、

第 n 回目のパルス周期の開始に際して、予め定めた溶接電圧設定値と溶接電圧の検出値との電圧誤差に応じて溶接電流変化量 I を算出し、配分比率 $(0 \leq \text{配分比率} \leq 1)$ を予め設定し、

ピーク電流設定値変化量 $I_{pr} = I \times (T_p + T_b) \times \text{配分比率} / T_p$ を算出し、この値を第 $n - 1$ 回目のパルス周期における前記ピーク電流設定値に加算して第 n 回目のパルス周期における前記ピーク電流設定値 I_{pr} を算出して前記ピーク電流を制御し、

ベース電流設定値変化量 $I_{br} = I \times (T_p + T_b) \times (1 - \text{配分比率}) / T_b$ を算出し、この値を第 $n - 1$ 回目のパルス周期における前記ベース電流設定値に加算して第 n 回目のパルス周期における前記ベース電流設定値 I_{br} を算出して前記ベース電流を制御する、ことを特徴とするパルスアーク溶接の出力制御方法。

【請求項 2】

前記配分比率が、前記ワイヤ送給速度に応じて変化する、ことを特徴とする請求項 1 記載のパルスアーク溶接の出力制御方法。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0015
 【補正方法】削除
 【補正の内容】
 【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0016
 【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】